

赤坂プレスセンター

【所在地・面積】 港区六本木7丁目 26,938㎡(国有地)
【用途】 事務所(星条旗新聞社、宿舎、ヘリポート)
【管理部隊】 在日米陸軍基地管理本部

沿革

明治22(1889)年1月
旧陸軍第一師団歩兵第三連隊駐屯地設置

昭和20(1945)年9月22日
米軍が接収

昭和58(1983)年5月19日
日米合同委員会において都市計画街路環状三号線の道路用地(約3,900㎡)について都との共同使用及び代替措置として工事期間中の臨時ヘリポート用地(約4,300㎡)を追加提供することを合意

昭和58(1983)年8月12日
都、東京防衛施設局、在日米軍の三者間で工事期間中の臨時ヘリポートの整備と、工事終了後、元のヘリポートを原状回復することとした「在日米軍施設及び区域の共同使用に関する協定」を締結

平成5(1993)年3月29日
環状三号線工事の完了、供用開始

平成5(1993)年6月3日
日米合同委員会において陸上自衛隊によるヘリポートの共同使用について合意

平成13(2001)年9月1日
都が総合防災訓練の会場として初めて使用

平成19(2007)年4月23日
日米合同委員会において臨時ヘリポート用地の代替地として一部土地(約4,700㎡)の返還合意
都と在日米陸軍は緊急時におけるヘリポートの共同使用に係る協定を締結

平成20(2008)年4月
都が救急患者を島しょ地域から都心の医療機関への搬送の中継拠点として使用を開始

平成20(2008)年11月10日
都と在日米陸軍は、災害時におけるヘリポートの立入りに係る協定を締結

平成23(2011)年7月29日
日米合同委員会合意に基づき代替地として一部土地(約4,700㎡)が返還

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちが真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。



平和の灯(区立芝公園)

発行番号: 2024241-6421

港区の米軍基地

平成30(2018)年3月 初版発行
令和7(2025)年3月 改訂

発行 港区総務部人権・男女平等参画担当
港区芝公園一丁目5番25号
電話 03-3578-2111(代表)

港区の米軍基地

港区には、2か所の米軍基地(赤坂プレスセンター及びニューサンノー米軍センター)があり、赤坂プレスセンターにはヘリポートが設置されています。

このリーフレットは、区民の皆さんに基地の概要とヘリポート基地があることによる区の実情を知っていただくために作成しました。

赤坂プレスセンター (Akasaka Press Center)



(麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会提供)

旧日本陸軍駐屯地。現在は、米軍ヘリポート、星条旗新聞社、独身将校宿舎、ガレージとして使用されています。都立青山公園に隣接しています。

ニューサンノー米軍センター (New Sanno U.S.Forces Center)



(東京都HPから転載)

山王ホテル士官宿舎の代替施設として、昭和58(1983)年に米軍に提供され、会議及び宿泊施設として使用されています。日米地位協定等について、日米間で協議を行う日米合同委員会は、この施設で開催されています。

赤坂プレスセンターとニューサンノー米軍センターの位置



赤坂プレスセンターの現状と区の見解

代替地返還

- ◆昭和58(1983)年に日米合同委員会で合意された環状三号線の道路用地の共同使用と臨時ヘリポート用地の追加提供が合意され、翌昭和59(1984)年に臨時ヘリポートが完成しました。
- ◆平成5(1993)年の環状三号線工事完了後においては、臨時ヘリポートは、日米合同委員会の合意により、陸上自衛隊に共同使用されていました。
- ◆平成19(2007)年に日米合同委員会で、臨時ヘリポート用地の代替地として一部の土地の返還が合意され、東京都と在日米陸軍は緊急時使用に係る協定を締結しました。
- ◆平成23(2011)年に臨時ヘリポート用地の代替地として一部土地が日本に返還されました。

騒音調査

- ◆平成20(2008)年10月、臨時ヘリポートを使用している米軍ヘリコプターによる騒音等の実態把握のため、基地周辺の町会・自治会にアンケート調査を実施しました。

調査結果：米軍ヘリの音をうるさく感じる…88%
(しょっちゅう、時々)

- ◆平成21(2009)年2月、臨時ヘリポートを使用している米軍ヘリコプターによる騒音発生状況等の実態把握のため、騒音測定調査を実施しました。

調査結果：「小規模飛行場環境保全暫定指針値」及び「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合

- ◆平成27(2015)年3月、小学校等への騒音等の影響・実態を把握するため、基地周辺の小学校・保育園等に聴き取り調査を実施しました。

調査結果：ほとんどの施設…「音は気になるが保育・授業に差し障るほどでない」、
「気になるほどでもなく保育・授業できる」と回答
一部施設…「時々うるさく感じる」、「特定の教室で授業に差し障ることが時々ある」と回答

- ◆令和2(2020)年9月、羽田空港の新飛行経路の運用に伴い、新飛行経路に近接する臨時ヘリポートの飛行状況及び騒音状況の変化を把握するため、騒音測定調査を実施しました。

調査結果：「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合。

- ◆令和3(2021)年6月、前年に引き続き、騒音測定調査を実施しました。

調査結果：「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合。

要請行動

○区は…平成3(1991)年から、渉外知事会(米軍基地が所在する15都道府県で構成される)を通して、基地の早期返還を国に要望しています。平成8(1996)年には、東京都を訪問し、米軍ヘリポート撤去、臨時ヘリポートの原状回復を要請しました。以降、基地の早期返還、米軍ヘリポート撤去、臨時ヘリポートの原状回復について、米国大使館、防衛省、東京都へ要請してきました。

○区議会は…昭和42(1967)年に「米軍ヘリポート撤去方に関する意見書」を採択し、防衛施設庁(現：防衛省)に要請しました。以降、基地の撤去・返還、騒音に関する意見書を米国大使館、防衛省、東京都あてに提出してきました。

○区と区議会は…平成16(2004)年8月に発生した沖縄県宜野湾市の沖縄国際大学構内への米海兵隊の大型輸送ヘリコプター墜落事故を契機に、区は区議会とともに、区民の安全で快適な生活を守るため、ヘリポート基地の早期撤去に向けた要請を継続して行っています。

◆これまでの要請行動(過去5年間)

令和3(2021)年2月4日 防衛省・東京都に訪問	内容 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和4(2022)年2月8日 防衛省・東京都に訪問	内容 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和5(2023)年2月7日 防衛省・東京都に訪問	内容 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和6(2024)年2月5日 防衛省・東京都に訪問	内容 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和7(2025)年2月4日 防衛省・東京都に訪問	内容 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減、在日米軍再編における随時の情報提供・意見聴取、基地の設置基準・米軍ヘリコプターの運用基準の情報提供

過去の要請文は、港区公式ホームページでご覧いただけます。



←港区ホームページQR

◆静穏を必要とする地元行事等の調査

毎年四半期毎に北関東防衛局企画部地方調整課からの照会を受け、地元行事等への配慮を要請しています。

米軍ヘリポート基地に関する要請書

都心港区の市街地に米軍基地(赤坂プレスセンター)が設置され、港区民とりわけ近隣住民は、米軍ヘリポート基地の使用による騒音に悩まされ、事故発生の不安を常に抱えています。

このため、港区と港区議会は、これまでも防衛省をはじめ関係機関に当該基地の早期撤去を要望してきました。

一方で、平成23年7月29日、日米合同委員会の合意に基づき実施された一部土地の返還は、港区と港区議회가長年求めてきた都道環状3号線の工事に伴って提供された臨時ヘリポート用地の公園への原状回復・返還ではなく、代替地の返還という、地元自治体の願いとは程遠いものでした。

昨年は、全国各地で米軍ヘリコプターの予防着陸が相次ぎました。安全に配慮した措置ではありますが、機体の安全管理体制や事故につながる不安を区民に与えるものです。

11月には、在日米軍司令部の赤坂プレスセンターへの移転が検討されている旨の報道があり、基地の恒久化につながることを懸念しております。

引き続き、港区と港区議会は、区民の安全で安心な生活を守るため、米軍ヘリポート基地の早期撤去を目指します。防衛省におかれましては、米国に対し、改めて基地の撤去及び米軍関連事故の再発防止を求めること、在日米軍再編において港区への情報提供及び意見聴取を随時行うこと、国の責任において継続的に騒音等の実態調査を実施し、早朝、夜間の飛行をはじめとする騒音等の軽減に努めることについて、要請いたします。

令和7年2月4日

防衛大臣 中谷 元 様

港区長 清家 愛

港区議会議長 鈴木 たかや

(防衛大臣宛要請書)



要請行動時の様子(令和6年度、防衛省)

ニューサンノー米軍センター

- 【所在地・面積】 港区南麻布 7,243㎡(私有地)
- 【用途】 その他(宿泊施設)
- 【管理部隊】 在日米海軍横須賀基地
- 【沿革】 昭和58(1983)年6月 施設完成

区に寄せられた米軍基地に関するご意見

Q1 なぜ、港区はヘリポート基地の撤去を要請しているのでしょうか。

A1 基地があることで区民、特に近隣にお住まいの方は、ヘリコプターの離発着に伴う騒音や臭気等に悩まされています。また、事故発生の不安も抱えています。区民の安全・安心を守るため早期撤去を要請しています。

Q2 ヘリポートの近所に住んでいます。米軍の施設なのかどうかも不明ですが、返還期限は過ぎているはずですが、区はどのような返還活動をしているのでしょうか。

A2 都立青山公園の中にある赤坂プレスセンターには米軍ヘリポートが併設されています。環状三号線整備に伴い提供された臨時ヘリポート用地は返還されず、代替地が平成23(2011)年に返還されました。区は、区議会とともに、基地の撤去を要請しています。平成25(2013)年、平成26(2014)、令和5(2023)年、令和6(2024)年、令和7(2025)年には近隣町会代表も同行し、地域の実情を訴えました。

Q3 東京都は緊急時や防災訓練等でヘリポートを使用しています。区も防災訓練等で使用し、災害時等に備えた方が良くないのでしょうか。

A3 人命救助や緊急時に備えて、東京都が救急搬送や防災訓練等で使用することがありますが、一時的な使用が基地の機能の拡大や恒久化につながることはないように要請しています。

令和7年度 地域福祉活動・ボランティア活動

パワーアップ塾



あなたの活動のきっかけをつくろう！

地域福祉の基本を学ぶ「必須プログラム」と、子どもや障害、災害等のさまざまな分野の講座から自分に合ったものを選ぶ「選択プログラム」で、一人ひとりに合ったボランティア活動・地域活動のスタートを後押しします。一緒に学び、地域の活動に踏み出す仲間づくりも応援します！

親子参加も
大歓迎！

★必須プログラム★

はじめの会～オリエンテーション～

日時	内容	会場
5月18日(日) 10時～16時	○パワーアップ塾の受講方法や講座内容についての説明 ○これまでの受講者によるボランティア活動等の紹介 ○港区の地域資源をめぐるまち歩き	高輪区民協働 スペース (高輪1-5-38)

あいだの会～中間報告～

7月13日(日) 14時～16時	○参加者同士の情報交換・意見交換など ○これまでの学びの確認と今後の抱負について	麻布地区総合支所 2階第3会議室 (六本木5-16-45)
---------------------	---	-------------------------------------

まとめの会～振り返りと活動に向けて～

10月5日(日) 10時～正午	○パワーアップ塾の振り返り・情報交換 ○今後の目標や抱負等の意見交換	麻布地区総合支所 2階第3会議室 (六本木5-16-45)
--------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

- ◆対象者: 港区在住・在勤・在学で、港区で活動したいと思っている人
- ◆参加費: 無料(選択プログラムにより資料代などがかかる場合があります)
- ◆申し込み: 5月12日(月)までに、申し込みフォーム・電話・FAXで、住所・氏名・電話番号・メールアドレス(お持ちの場合)を明記の上、申し込み
- ◆問い合わせ: ボランティア・地域活動支援係 (みなとボランティアセンター)
TEL:6230-0284 FAX:6230-0285

申し込みフォーム



※裏面の選択プログラムからも1つ以上ご参加ください

★選択プログラム（予定）★

ボランティア入門講座	ボランティアの「いろは」を学ぶ講座です。先輩ボランティアの話の聞いたり簡単な体験も行います。
ボランティアスキルアップ講座 「やさしい日本語について」	障害特性や国籍、文化等が異なる人たちへの理解を深めるために必要なことを学びます。
オリジナル講座① 「ボランティア団体の活動を知ろう！体験してみよう！」	港区内で活躍しているボランティア団体(4～5団体を予定)をゲストに、活動の紹介やプチ体験、交流をはかります。
オリジナル講座②③④	②民生委員からみた港区について ③参加者の要望に応じて企画する講座 ④障害のある人の話や支援等の体験をする講座
スマホ・タブレット マイスター 養成講座	地域の高齢者等へ、スマホやタブレットの使い方を教える人を養成します。講座受講後、ボランティアとして活動できる方が対象です。
サロンづくり方講座	自分の住む地域で、住民と集まる活動を始めたい人が、居場所(サロン)の作り方について学びます。すでに活動しているサロンでの体験も行います。全4回。
おむすびサービス研修会	高齢者や障害者などの支援を行う「おむすびサービス」の事業説明と、活動に役立つ研修会・交流会を行います。
ボランティア活動体験プログラム 2025夏！体験ボランティア	福祉施設やボランティア団体での活動を体験します。複数のプログラムの中から選ぶことができます。
パラスポーツメイト 養成講座	誰もが一緒にスポーツを楽しむことができるよう、講義やパラスポーツ体験をとおしてパラスポーツをする人を支えるメイト(仲間)を養成します。
災害に備えたまち歩き講座	まち歩きを通して、災害時の「気になること」「役に立つこと」を見つけ、いざとよときの『地域のつながり』について考えます。
災害ボランティア基礎講座	災害時のボランティア活動についての基礎を学びます。
区民後見人説明会	地域における身近な立場で成年後見活動を行う『区民後見人』として活動したい人へ、基礎講習受講についての説明を行います。

パワーアップ塾 参加申込み ※FAXはご記入の上、切らずにこのまま送信ください。

名前	ふりがな	
連絡先	住所	
	TEL	メール

ご参加、
お待ちしております
おります♪



※申し込み時にいただいた個人情報は、本会個人情報保護規定に基づき、適切に取り扱い、本事業の実施にのみ使用いたします。

第44回

エコライフフェア

MINATO 2025

2025年5月17日(土) 午前10:00▶午後3:00
小雨決行・荒天中止

場所 港区立有栖川宮記念公園
(港区南麻布5-7-29)

緑のカーテン用苗の無料配布会

午前10:10から整理券を配ります

● 団体・企業による出展
(パネル展示や体験型イベント)

※詳細は裏面をご覧ください



● エコクイズラリー

※詳細は裏面をご覧ください

● 池の生きものをしらべよう

※詳細は裏面をご覧ください



● ふとん、不用園芸土、廃食用油、
使用済み小型家電の回収



● リサイクルバザー

※マイバッグをご持参ください

● フードドライブ (未利用食品の回収)



ステージイベント



● EVごみ収集車「みえる号」、
小型電気自動車の展示



ECOパフォーマー
じんごろう



サイエンスショーチーム
なんでっど?

● 自転車の無料点検

リサイクル自転車の販売



省エネ・発電の
体験ステージもあつた。



港区環境ジャムム
©2018MAA

Carbon Eye 温室効果ガス排出量(12,000冊)
26.7g-co₂/部
総排出量 319,96kg-CO₂
Powered by Carbon Eye®

エコライフ・フェアMINATO2025は、カーボンオフセットを活用しております。

FSC ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C019355



エコライフ・フェアは、
みどり東京・温暖化防止
プロジェクトの助成事業です。

UD FONT

VEGETABLE OIL INK

会場地図



ちいばす(麻布西ルート)

下車徒歩3分

96番 元麻布二丁目

97番 愛育クリニック

98番 有栖川宮記念公園

■ 東京メトロ
日比谷線 広尾駅下車
徒歩7分

当日の開催有無
の問い合わせ

みなとコール (港区コールセンター)

03-5472-3710

主催 港区 港区環境課地球環境係

問い合わせ

TEL. 03-3578-2496~2498 FAX. 03-3578-2489
(平日/午前8時30分~午後5時15分)

環境課のXアカウント
https://twitter.com/minato_kankyou



第44回 エコライフ・フェア MINATO 2025

ステージイベント

10:00～ 開会

12:00～ **省エネ・発電体験ステージ①**

12:30～ **エコパフォーマンスショー**

13:30～ **エコサイエンスショー**

14:30～ **省エネ・発電体験ステージ②**

15:00 閉会



港区リデュースキャラクター
だんじろう (断辞郎)



港区リユースキャラクター
リユウ助



港区リサイクルキャラクター
エコル

**無料
配布**

緑のカーテン用苗

10時10分 に、並んでいる方から整理券をお配りします。

※数に限りがあります。ご了承ください。
※ゴーヤ、ニホンアサガオ、ヘチマより1種、2株まで。



? エコクイズラリー

間伐材グッズ
などの
景品!

各テントで環境に関するクイズに答えて、
10個以上のクイズに答えると景品をプレゼント!
すべてのクイズに答えるとさらに間伐材グッズなどの景品がもらえるよ!

※景品には限りがあります。

景品交換場所 ▶ 本部テント

楽しい体験や工作、ゲーム

楽しく
遊ぼう

- 環境に関するワークショップ
- 野外のエコ達人と遊ぼう! (ゲームや工作)



池の生きものをしらべよう

生きものにふれて生物多様性と外来種問題を学ぼう!

受付はコチラ
広尾ロイトレ横

- 1 午前の部 11:00～
- 2 午後の部 13:30～
- 1、2とも 10:00 より



広尾口近くのトイレ横のテントにて、整理券を配布します。

エコライフ・フェア会場

小学生対象保護者同伴

各回 **先着20組** 限定

見て、
聞いて、
学ぼう!

- 環境にやさしい製品・サービス、環境活動の紹介、パネル展示
- EVごみ収集車「みえる号」の展示
- 緑のなんでも相談コーナーなど学べる展示が盛りだくさん!



港区生物多様性キャラクター みなも・みんと

CO₂ ダイエット宣言

エコライフ・フェアMINATO2025、イベント開催に伴うCO₂排出量を可能な限り減らす工夫をしています。
会場では、各出展団体のCO₂削減取組について紹介します!

出展団体一覧

- AZABU Go & AREA Go
- 麻布清掃協力会・赤坂青山清掃協力会
- 一般社団法人高輪ゲートウェイエアマネジメント
- オール東京62「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
- 学生団体Family
- 環境リサイクル支援部環境課環境政策係
- 生物多様性みなとネットワーク
- 東京ガス株式会社 東京中支店
- 東京電力パワーグリッド株式会社 銀座支社

- 東京都環境局・東京都環境公社
- 東京水道株式会社港営業所
- 東京都立中央図書館
- 東京二十三区清掃一部事務組合 港清掃工場
- 特定非営利活動法人ハロハロ
- パナソニック株式会社
- パルシステム東京港あけぼの会
- ボーイスカウト東京港第12団
- みなと環境にやさしい事業者会議 (mecc)

- 港区麻布地区総合支所まちづくり課
- 港区3R推進行動会議
- 港区リサイクル事業協同組合
- 港区消費者団体連絡会
- 港区立エコプラザ
- みなとリサイクル清掃事務所
- 早稲田大学環境ロドリゲス Precious Plastic Waseda